

## 1. 沿革

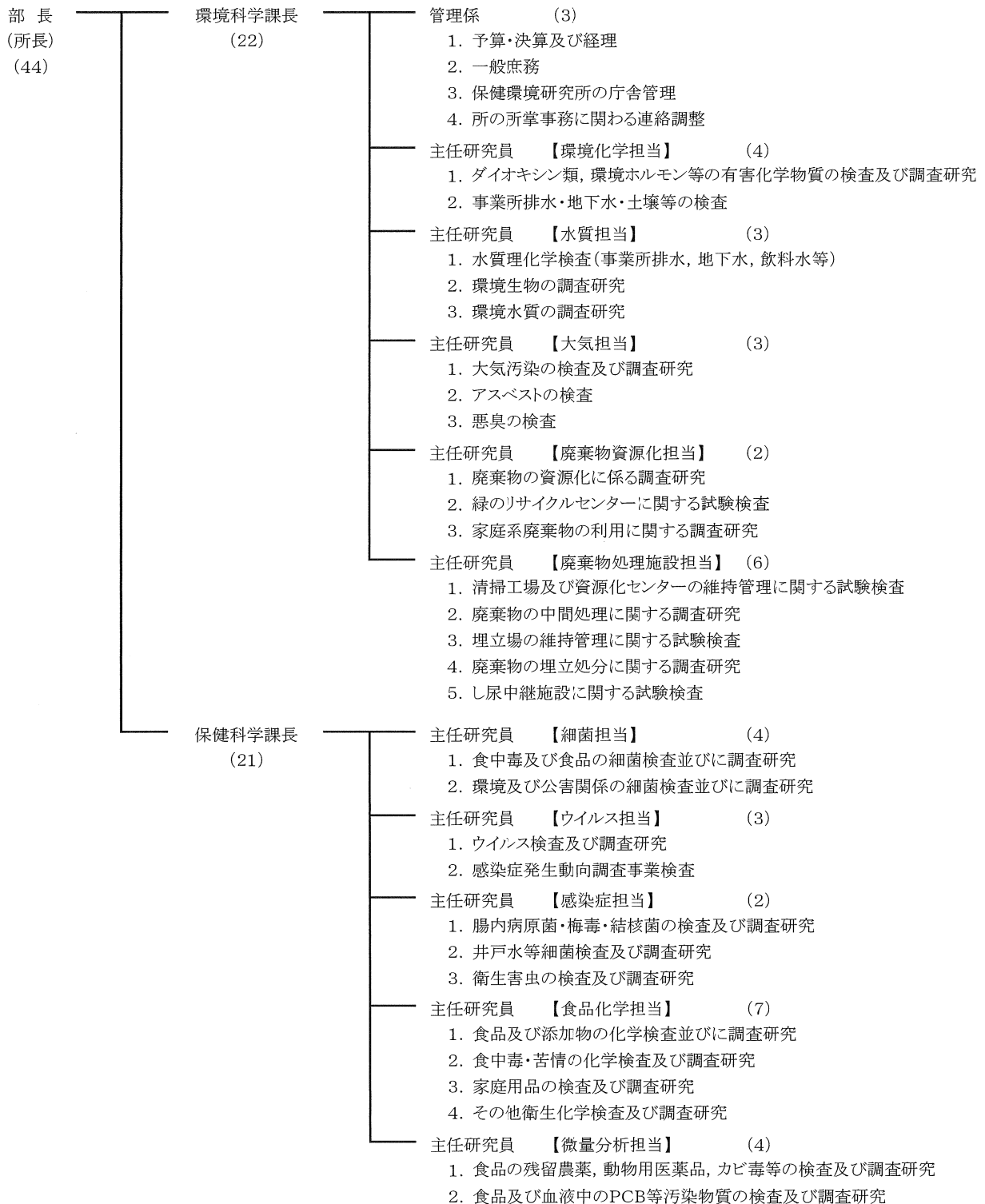
昭和45年10月	保健所検査室を統合し、1所(課)3係(職員数13名)で衛生試験所発足(中央保健所に併設)。
昭和48年4月	部長制が敷かれ、1所(部)1次長(課)3係(職員数29名)となる。
昭和48年8月	本館4・5階を増築。
昭和50年4月	1所(部)2課3係(職員数36名)となる。
昭和58年4月	1所(部)2課4係(職員数36名)となる。
昭和61年4月	1所(部)2課4係1主査(職員数36名)となる。
平成元年4月	1所(部)2課4係2主査(職員数36名)となる。
平成2年3月	旧第一病院の仮庁舎に移転。
平成4年4月	1所(部)2課4係4主査(職員数39名)となる。
平成5年4月	1所(部)2課4係4主査(職員数41名)となる。
平成7年4月	1所(部)2課4係5主査(職員数42名)となる。
平成8年4月	1所(部)2課5係6主査(職員数43名)となる。
平成9年3月	新庁舎に移転(中央区地行浜二丁目1番34号)となる。
平成9年4月	1所(部)3課5係6主査(職員数43名)となる。
平成9年5月	衛生試験所から保健環境研究所に名称変更。「まもる一む福岡」オープン。
平成11年4月	1所(部)3課5係5主査(職員数42名)となる。
平成12年4月	保健福祉局から環境局へ移管、1所(部)3課1係9主任研究員(職員数43名)となる。(技術職の係長、主査制は廃止され、主任研究員制となる。)
平成12年10月	廃棄物試験研究センターが保健環境研究所の所属となる。 1所(部)3課1所(課)1係12主任研究員(職員数52名)となる。
平成13年4月	スタッフ制導入(課長制は廃止され、主席研究員制となる。) 1所(部)3主席研究員1所(課)1係12主任研究員(職員数49名)となる。
平成15年4月	本庁環境啓発課の環境情報係と主査(有害汚染物質専任)が保健環境研究所の所属となり、企画調整課が設置される。1所(部)、1課、2主席研究員、1所(課)、2係、1主査、12主任研究員(職員数53名)となる。
平成19年4月	企画調整課が廃止され、企画調整係が総務係に名称変更し、環境情報係・主査(有害汚染物質専任)は環境対策推進部環境保全課へ移管。又、環境科学部門の博多湾担当を廃止し、環境生物担当は水質担当に名称変更となる。「まもる一む福岡」の業務は総務部環境啓発課に移管となる。1所(部)、2主席研究員、1所(課)、1係、11主任研究員(職員数46名)となる。
平成20年4月	主席研究員を廃止し、環境科学課と保健科学課を設置した。又、総務係を管理係とし、環境科学課に移管。1所(部)、2課、1所(課)、1係、11主任研究員(職員数46名)となる。
平成22年4月	「まもる一む福岡」の業務が温暖化対策部環境調整課から環境科学課へ移管される。
平成23年4月	廃棄物試験研究センターの工場担当と埋立場担当を統合し処理施設担当とする。 1所(部)、2課、1所(課)、1係、10主任研究員(職員数46名)となる。
平成24年4月	環境監理部を新設し、環境科学課及び保健科学課を、環境調整課、環境保全課と併せて統合。同部長を保健環境研究所長兼任とする。又、廃棄物試験研究センターを廃止し、主任研究員以下を環境科学課に統合。保健環境研究所は、2課、1係、10主任研究員(職員43名)体制となる。

## 2. 施設

1階	まもる一む福岡	敷地面積：5,799㎡ 延床面積：7,384.41㎡ (うち、「まもる一む福岡」550㎡) 高さ：28.4m 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造地上5階 所在地：福岡市中央区地行浜2丁目1-34
2階	会議室・技術研修室	
3階	所長室・管理係・情報資料室 保健科学課 細菌担当 (微生物) ウイルス担当 感染症担当	
4階	保健科学課 (理化学) 食品化学担当 微量分析担当	
5階	環境科学課 (環境科学) 環境化学担当 水質担当 大気担当	・環境科学課(廃棄物) 廃棄物資源化担当、廃棄物処理施設担当 所在地：福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13-42 臨海工場内3階：面積：620㎡

### 3. 組織及び事務分掌・職員定数

(平成25年5月1日現在)



\*他に嘱託職員(調査研究推進等, 病原微生物, 検査補助)11名を配置

4. 職員配置表 (平成25年5月1日現在)

課	職 種	技 術 職				事 務 職	嘱 託 職 員	計
		衛 生 管 理	獸 医 師	臨 床 検 査 技 師	化 学			
部 長 (所 長)		1						1
環 境 科 学 課 (環 境 科 学)		9	1		1	3	(5)	14 (5)
環 境 科 学 課 (廃 棄 物)		8					(1)	8 (1)
保 健 科 学 課 (微 生 物)		7	2	1			(4)	10 (4)
保 健 科 学 課 (理 化 学)		9		1	1		(1)	11 (1)
計		34	3	2	2	3	(11)	44 (11)

※1. 環境科学課長は環境科学に含む。 2. 保健科学課長は微生物に含む。

5. 予 算 (平成25年度当初予算)

1) 歳入

(単位：千円)

科 目	環 境 施 設 使 用 料	保 健 環 境 研 究 所 手 数 料	健 康 保 険 料	雇 用 保 険 料	厚 生 年 金 保 険 料	資 源 有 価 物 売 払 収 入	そ の 他 の 雑 入	合 計
金 額	31	1,100	1,750	157	2,545	2,569	3,643	11,786

2) 歳出

(単位：千円)

区 分	環 境 局				保 健 福 祉 局				計
	環 境 総 務 費	環 境 対 策 費	ご み 処 理 費	施 設 費	保 健 衛 生 総 務 費	感 染 症 対 策 費	環 境 衛 生 費	食 品 衛 生 費	
報 酬		26,407	2,533						28,940
共 済 費		8,338	826			1			9,165
賃 金		1,329	1,386			108			2,823
報 償 費		356							356
旅 費		2,068	498		60	12	97		2,735
需 用 費	印刷消耗品費	30,424	5,980			19,267	3,321	21,798	80,790
	被 服 費	54	70						124
	光 熱 水 費	30,225							30,225
	修 繕 料	2,700	810						3,510
役 務 費		2,425	315			370			3,110
委 託 料		67,406	69,011	9,364					145,781
自 動 車 借 上 料		14							14
借 損 料		99,924	6,551						106,475
備 品 購 入 費		5,367	1,985						7,352
諸 会 議 費 負 担 金	50	512	124						686
計	50	277,549	90,089	9,364	60	19,758	3,418	21,798	422,086

※ごみ処理費及び施設費は環境科学課(廃棄物)関連の経費

## 6. 福岡市保健環境研究委員会

市民の健康を守り生活環境を保全するため、保健環境研究所が実施する調査研究を専門的・客観的な立場から支援する目的で、学識経験者と行政の委員からなる研究委員会を設置している。

### 1) 所掌事務

- (1) 調査研究に関する提言 (2) 調査研究に関する指導・助言 (3) 調査研究に関する評価  
(4) その他調査研究に関し必要な事項

### 2) 委員（定員20人以内）

- (1) 学識経験を有する者（11人） (2) 市職員（3人）

### 3) 平成24年度の開催状況

- (1) 開催日時 平成24年8月6日（月）9：45～12：10（場所：福岡市保健環境研究所）

#### (2) 議題

##### ①調査研究最終報告について（8件）

- ・博多湾における円石藻による白潮発生機構に関する研究
- ・食品廃棄物の嫌気性発酵を利用したエネルギー化（水素発酵とメタン発酵）
- ・空きびん・ペットボトル収集袋中の組成調査
- ・カンピロバクター感染症に関する研究  
ー本市にて分離された *C. jejuni* 株とギランバレー症候群 (GBS) との関連および薬剤感受性についての解析ー
- ・薬剤耐性菌による院内感染および市中感染の防止に関する研究  
ー福岡市における基質拡張型βラクタマーゼ産生菌の浸淫実態と疫学解析ー
- ・福岡市における食事からの着色料一日摂取量実態調査
- ・食品中有機水銀の試験法の開発
- ・食品中に残留する農薬等のポジティブリスト制度に対応する研究（平成23年度分）

##### ②調査研究実施計画（新規調査研究）について（6件）

- ・空きびん・ペットボトル収集袋中の組成および排出状況調査  
ー収集地域を踏まえた調査と収集形態別での調査ー
- ・生食用鶏肉類を原因とする細菌性食中毒予防の研究  
ー生食用鶏肉類における各種食中毒細菌の汚染実態調査ー
- ・福岡市における魚介類からの有機水銀摂取量調査
- ・ヒナモロコの遺伝子解析
- ・食品中に残留する農薬等のポジティブリスト制度に対応する研究（平成24年度分）
- ・健康食品に含まれる医薬品成分の検査法の検討

7. 事業実績一覧

1) 平成24年度保健環境研究所検査等事業

担当課名	項目名	検体数	項目数
環境科学課 (環境科学)	酸性雨調査	149	1,781
	悪臭検査	4	64
	有害大気汚染物質調査	53	457
	アスベスト調査	200	692
	その他の大気環境調査	245	3,298
	地下水, ダイオキシン類調査, 環境ホルモン調査	215	5,311
	プール, 受水槽水道, し尿浄化槽放流水検査等	227	1,119
	事業場排水, ゴルフ場調査等	46	1,415
	市民依頼検査	1,345	10,088
	油分鑑定(消防局)	2	2
	行政からの苦情等依頼検査(環境省委託調査を含む)	78	665
	計	2,564	24,892
	環境科学課 (廃棄物)	清掃工場(資源化センターを含む)	1,559
埋立場		391	6,843
し尿中継所		13	168
緑のリサイクルセンター		38	224
ごみ処理施設からの依頼等		753	4,066
資源化調査		22	566
その他の調査		16	96
計	2,792	26,570	
保健科学課 (微生物)	食品等行政収去検査	1,298	3,827
	食中毒・苦情検査	491	2,756
	環境衛生関係検査(プール・浴場水等)	530	665
	環境保全関係検査(事業場排水)	23	23
	その他の依頼検査	40	46
	腸内病原菌検査(赤痢・チフス・0157等)	2,256	6,768
	感染症法に基づく防疫検便	1,040	1,040
	結核菌検査	16	32
	梅毒検査	617	1,238
	井戸水等細菌検査	1,506	2,671
	衛生害虫検査(室内塵)	3	3
	原虫・寄生虫等検査	92	92
	血清検査(HIV, C t, 風疹)	3,608	5,047
	感染症発生動向調査事業ウイルス検査	103	515
	食中毒・集団感染のウイルス検査	280	280
	全数把握のウイルス検査	79	146
	小計	11,982	25,149
精度管理に係る検査	2,848	3,534	
計	14,830	28,683	
保健科学課 (理化学)	食品等行政収去検査	798	35,011
	家庭用品試買検査	48	48
	行政(保健所)からの依頼検査(苦情)	69	538
	行政(保健所以外)からの依頼検査	34	4,167
	委託事業(血中PCB)	50	50
	小計	999	39,814
精度管理に係る検査	951	5,755	
計	1,950	45,569	
総計	22,136	125,714	

2) 平成24年度保健環境研究所調査・研究等事業

区分		件数(回数)	人数
調査・研究	誌上发表	6	29
	学会誌等 所報	12	—
	小計	18	29
	口頭発表	13	—
	学会・協議会等 小計	13	—
	計	31	29
情報・啓発	夏休み体験学習	4	47
	ホームページ発行	—	—
	出前講座	21	772
	計	25	819
研修	研修生受入	2	4
	講師派遣	7	11
	研修派遣	19	25
	共同研究	7	—
	計	35	40
総計		91	888